

# 情報専門職員・ライブラリアン として生きる道

平成26年2月5日(水)

お茶の水女子大学附属高等学校 総合的な学習の時間

小野永貴先生「図書館情報メディア研究」

お茶の水女子大学附属図書館  
図書・情報チームリーダー  
森 いづみ  
mori.izumi@ocha.ac.jp

# 本日の内容

- 高校生／大学生の頃の夢
- これまでやってきたお仕事
- 今やっているお仕事
- 将来の夢

# 高校生の頃の夢

- 突然ですが、質問です。

## 皆さんの母校の教育目標は？

- 基礎・基本を重視し、広い視野と確かな見方・考え方を持つ生徒を育てる。
- 自主・自律の精神を備え、他者と協働していくことのできる生徒を育てる。
- 社会において有為な教養高い女性を目指し、真摯に努力する生徒を育てる。

# 高校生の頃の夢

- 突然ですが、質問です。

皆さんは、将来にどんな夢を持っていますか？

- 将来の夢がある人？
- それはどんな夢？
- ある職業に就けばかなう？
- 夢の実現には何をすればいいの？

# 高校生の頃の夢

- 私が高校生のときの夢は

誰かに必要とされる人になりたい  
一生働ける仕事に就きたい

- 薬剤師
- カウンセラー
- ピアノの先生
- 学校の先生

薬剤師やカウンセラーは「理系」?!  
ちょっとムリか。

人に何かを伝えるのは好きかも

# 高校生／大学生の頃の夢

- 教育学部(国語科)に進学

必ずしも第一志望ではなかった

同級生もそういう人が多かった

- でも学生生活は楽しかった／前向きな雰囲気
- どうせなら、教職の免許だけじゃなく司書の免許も取ろうと思った
- 大学3年のときに近所の市立図書館でバイト
- 「これが私の仕事だ！」と思った

# 大学生の頃の夢

- 図書館司書になるために

当時から図書館員になるのはけっこう  
難しかった

- どうしても図書館員になりたい／就職浪人覚悟
- 市、県、国家公務員(図書館学)を受験
- 国家公務員で図書館員になる＝国立大学の図書館員になるという自覚はあまりなかった
- 当時はOnline Public Access Catalogが導入され始めた頃だった

# これまでやってきたお仕事

		受入	目録	電子化OA	参考	閲覧	ILL	教育	広報
東大総図	3カ月	● ● ●	見習い						
東大駒図	4年 9ヶ月	外国雑誌							
東大総図	3年				参考			リテラシー	冊子
東大基盤センター	1年							リテラシー	
三重大図	7年		目録	IR	参考		ILL	リテラシー	Web冊子
NII	6年	REO CLOCKSS	CAT	SPARC IR CiNii			ILL	研修	Web冊子
お茶大図	1年 目	プレイング・マネージャ		★		★		★	★



# これまでやってきたお仕事

## ● 外国雑誌(ジャーナル)の受入@東大駒場 雑誌って・・・?

- 研究者は学術雑誌で情報を得、研究／実験し、成果を学術雑誌に投稿する
- 例:小保方晴子さん「STAP細胞」  
英国の科学誌「ネイチャー」に論文掲載
- どんな雑誌にいくつ論文が掲載されたか、その論文がどれだけ引用されているかで評価される
  - ジャーナルが読める＝研究環境の必須の要素
  - 今では殆どが電子ジャーナルとしてネットで提供

学術雑誌の購入(契約)と受入は、研究環境を作るうえで大事な仕事

# これまでやってきたお仕事

- 参考調査(レファレンス)@東大総合図書館
  - インターネット黎明の頃: 検索手段としては未成熟。
  - レファレンス・ブック主体: 全てを知っている必要はないが、ある事項を調べるための手段は知っていなくてはならない。
  - 利用者サービス: ある事項・事実を調べて答えるだけでなく、どのようにすれば自分で調べられるようになるのかを教えることも大事。
    - 利用者教育から情報リテラシーの時代へ
    - 北米の大学図書館を視察
    - 情報リテラシー掛への配属→運命の出逢い?!

# これまでやってきたお仕事

- 情報リテラシー@東大情報基盤センター
- 情報リテラシーは単にOPACの使い方を教えるだけではなく課題解決能力を身に付けてもらうこと。
- 「頑張れば頑張るほど、いらなくなる存在？」
- まず親しんでもらう。ポップな案内・キャラクターの作成

目からウロコが落ちる日々  
視点を変える・発想を変える  
疑ってみる・考え抜く

# これまでやってきたお仕事

- 情報リテラシー@三重大学
  - 縁あって三重大学へ
    - 1学年3000人→1学年1500人の世界へ
  - 初年次教育／教育の適時性
    - 頑張れば1年生全員に情報リテラシー教育ができる
    - 授業やゼミなどで年間200回以上の講習会
    - E-learning のはしり／高校の「情報」科目の必修化
  - インターネットの隆盛
    - Web2.0
    - 「ネットがあれば図書館はいらない」論
    - ますます「情報リテラシー」は重要に

# これまでやってきたお仕事

- 情報リテラシー@三重大学
- 縁あって三重大学へ  
1学年3000人→1学年1500人
- 初年次教育／教育の適正化

楽しいこともあった  
苦しいこともあった

## バーナード・ショウ

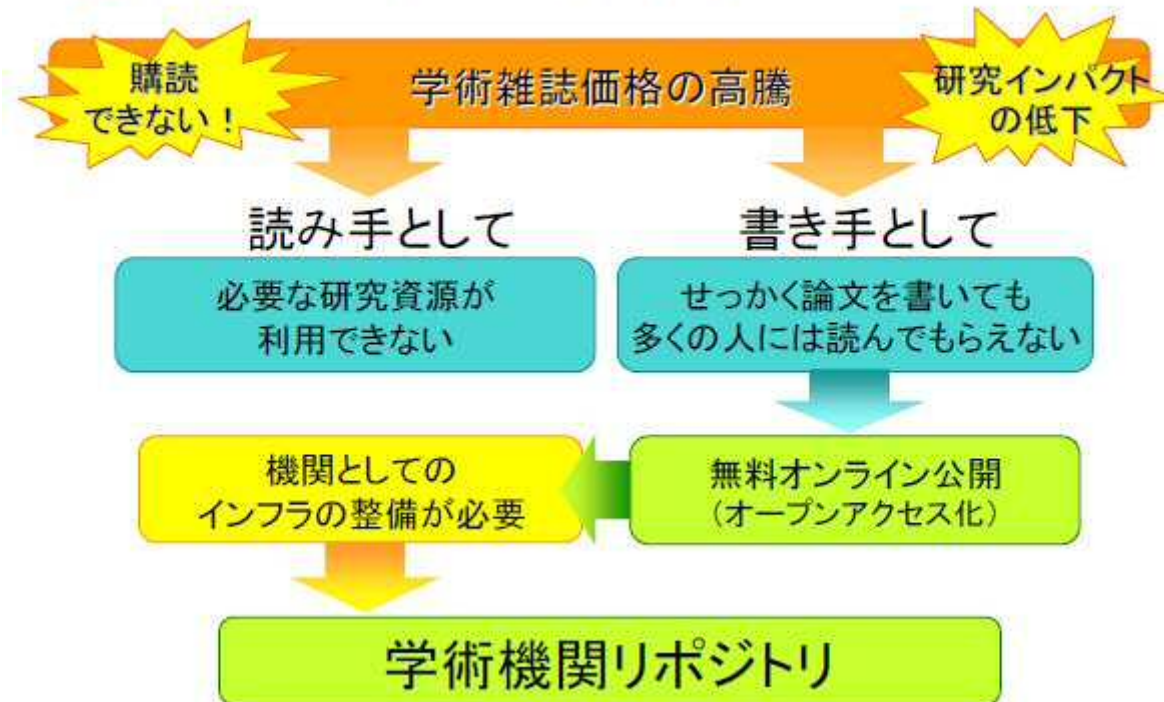
自分が今こうなのは、環境が悪かったからだと言はう。  
だが環境の影響など、何ほどのものではない。  
世の中で成功している人間は望む環境を求めて行動する  
し、見つからなければそれを自ら作りだしている。

「ウォレン夫人の職業/1893年」より

# これまでやってきたお仕事

- 機関リポジトリ@三重大学
- 学術雑誌の危機(シリアルズ・クライシス)の時期でもあった

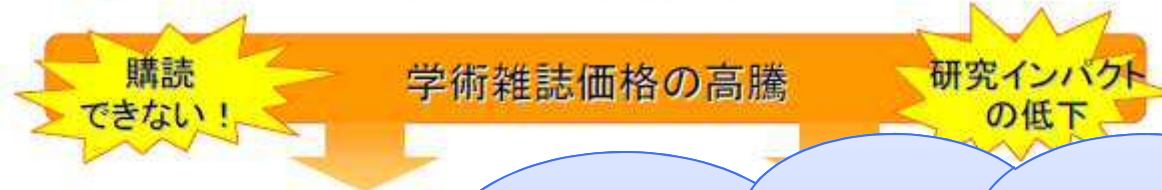
## □ 学術コミュニケーションの変革



# これまでやってきたお仕事

- 機関リポジトリ@三重大学
- 学術雑誌の危機(シリアルズ・クライシス)の時期でもあった

## □学術コミュニケーションの変革



三重大学で  
機関リポジトリを  
構築したい!  
→国立情報学研究所の  
プロジェクトに応募

# これまでやってきたお仕事

- 機関リポジトリ@三重大学
  - 国立情報学研究所の委託事業に採択
  - 5つの学部の教授会で、機関リポジトリの必要性をアピール
  - 担当者の研修で事例報告するなど、全国の仲間と交流

でも・・・全国の大学の担当者が同じ悩みをかかえて孤軍奮闘しなくてはならないのがナットクできなかった

国立情報学研究所で  
機関リポジトリを担当する  
ことに



# これまでやってきたお仕事

- 機関リポジトリ@国立情報学研究所
  - 国立情報学研究所とは？ CiNiiとかNACSIS-CATとか
  - 学生さんや研究者ではなく、大学図書館全体が対象
  - プロジェクトの推進／メタデータの標準化
  - 世界の動向調査／日本の取組みを世界にアピール（5カ国、7回の海外出張）
  - オープンアクセス／学術情報流通の改革

見晴らしの良い場所に立とう

# これまでやってきたお仕事

- 管理職の道へ@国立情報学研究所
  - 図書館連携チーム専門員
  - コンテンツチーム副課長
  - 実務をこなしつつ、連絡調整・大きなシステム調達、予算要求

かっこいい仕事をしよう。  
…そして、お茶大へ。

# これまでやってきたお仕事

- 情報専門職員・ライブラリアン  
って、どういう存在なんだろう

ありとあらゆる人と人、  
情報と情報、  
人と情報をつなぐ存在

# 今やっているお仕事

- チームリーダー@お茶の水女子大学
  - チームの皆が健康で楽しく仕事ができる環境づくり
  - 大学内や大学の外の動向にアンテナをはって、中期的・長期的なビジョンを持ち、情報共有する
  - 新図書館構想
    - 「創造的学びと人類智が交差する空間を目指して」
    - アクティブ・ラーニングの先へ(空間／蔵書・コンテンツ／人)
  - 大学内の事務系システム・ネットワークの将来構想
  - 創立150周年に向けた記念誌編纂のスタート

# 新図書館構想WGの活動

- 新図書館構想に取り組む(6月)
  - 附属図書館運営委員会の下にWGを設置
  - 空間機能、蔵書・コンテンツ、人材育成の3つのサブグループを設置
  - メンバーは、教員4名、職員4名
- 新図書館を創立140周年記念事業と位置付ける(11月)

# 新図書館構想WGの取組み

## ● 学生へのアンケート

- LA科目「知覚認知と環境デザイン」(第4回)のワークシート
- 有効回答数: 180(1学年500人 1-2年生中心 全体の1割)

### (1) 図書館の中に、お気に入りの場所はありますか？

- それはどこですか？ 2階閲覧席／1階ラウンジ／1階ソファ
- どうしてお気に入りなのですか？ 集中できるから／集中・コミュニケーション両方／寝られるから

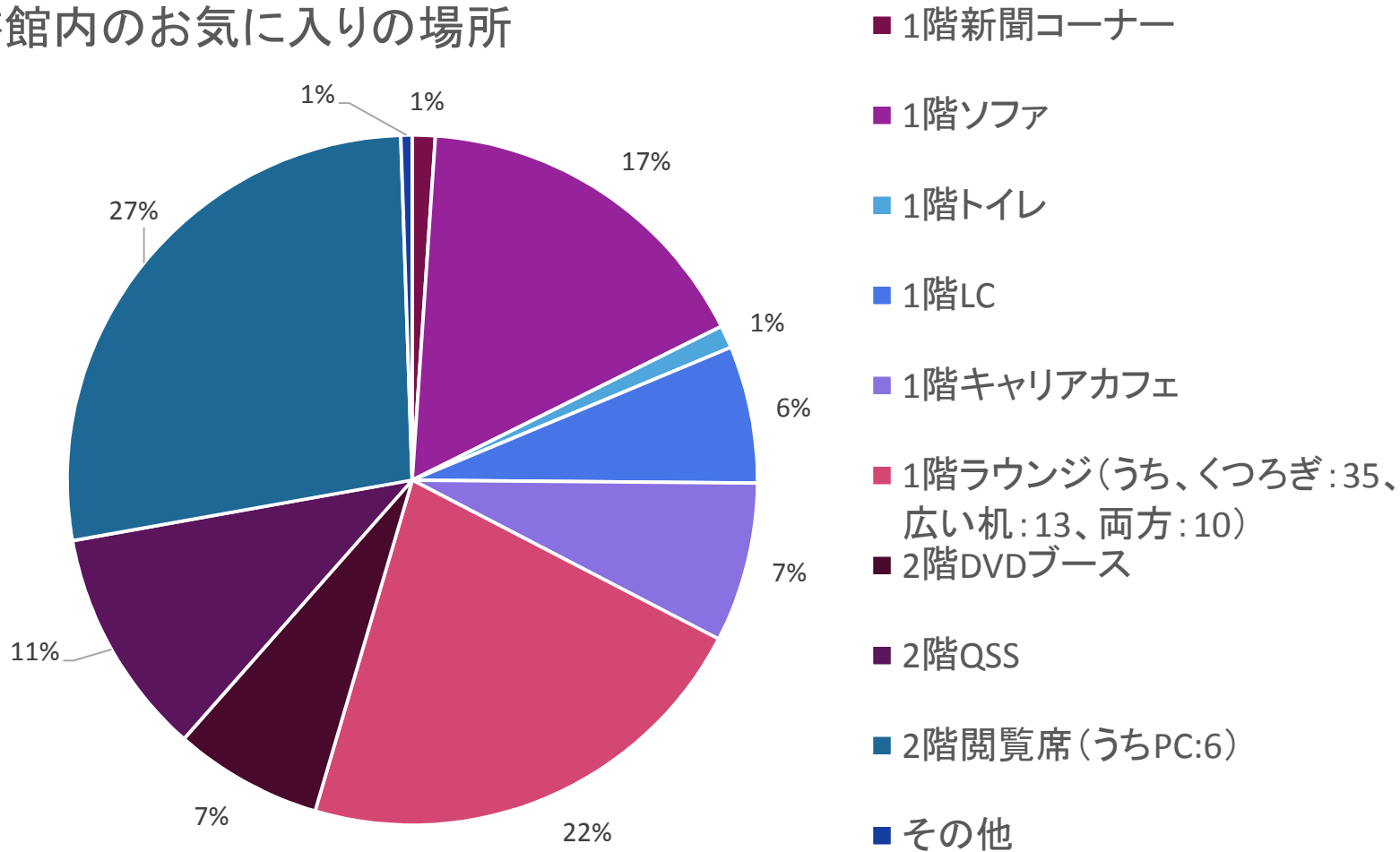
### (2) 人的支援について

- LiSAって知っていた？ 67% やってみたい？ 25%
- ラーニング・アドバイザーって知っていた？ 50%
- 図書館のレファレンスサービスって知ってる？ 20%

# ワークシート結果分析

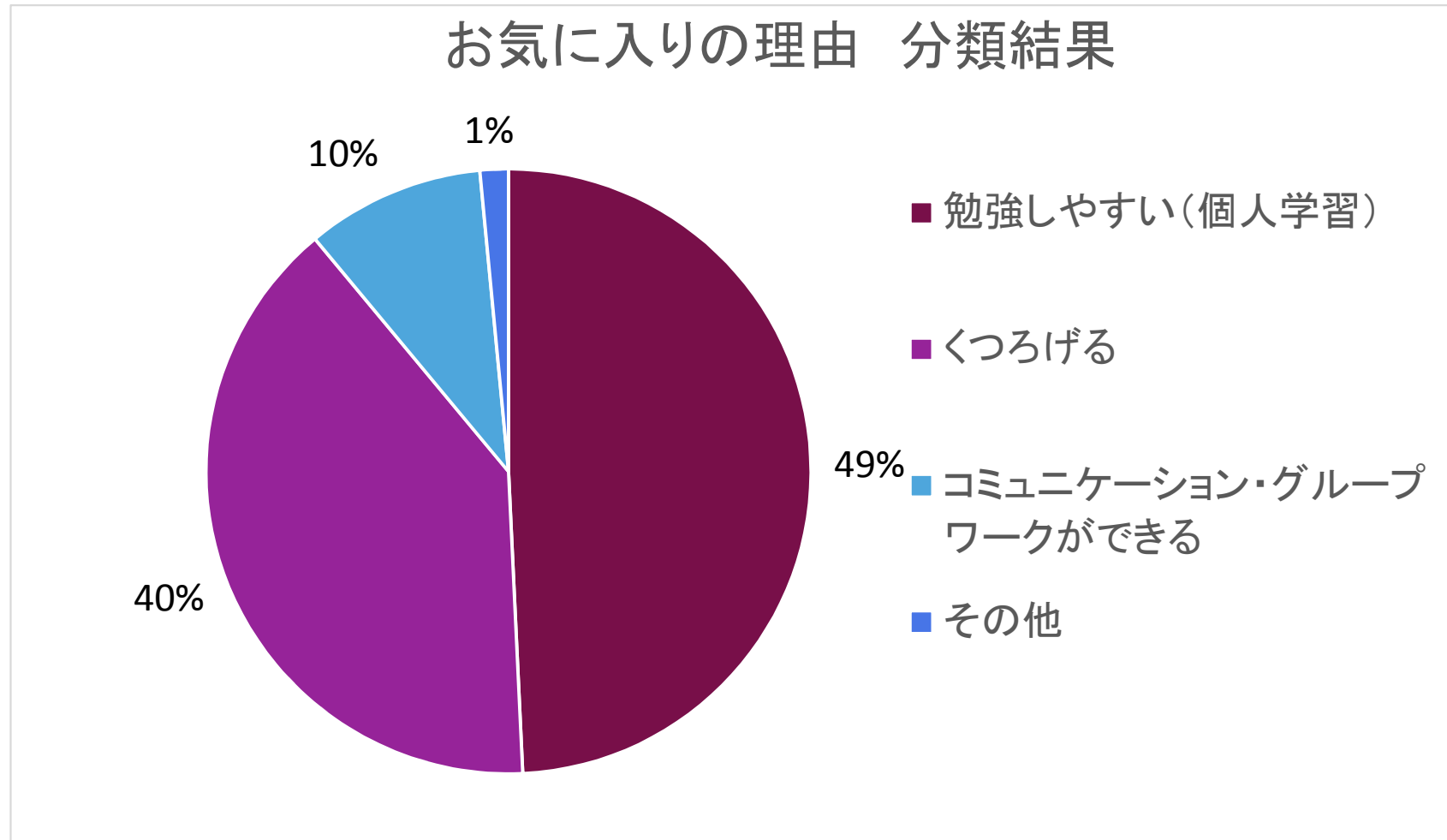
(まとめ: 餌取さん)

図書館内のお気に入りの場所



# ワークシート結果分析

(まとめ: 餌取さん)





# ワークシート結果分析

(まとめ: 餌取さん)

## ● 学生へのアンケート

(3) 図書館にあったらいいなと思う空間機能は？

– 学修空間: アクティブラーニング(能動的学修)のために  
必要なスペース(複数選択可)

<u>○集中して学習／研究するための個別空間</u>	88%
<u>○パソコンを使って自習／共同学習ができる空間</u>	82%
<u>○学習サポートのためのオープンな空間／個別空間</u>	73%
○キャリア支援・キャリア教育のための空間	52%
○学習研究の成果物を作成するためのラボ(大型プリンター等)	50%
○e-ラーニングのための空間	40%
○パソコンやプロジェクタを使った授業(WS)ができる空間	25%
○ICT教室	16%

# ワークシート結果分析

(まとめ: 餌取さん)

## ● 学生へのアンケート

(4) 図書館にあったらいいなと思う空間機能は？  
- コミュニケーションスペース(複数選択可)

○オープンなコミュニケーションスペース	70%
○飲み物を飲みながらコミュニケーションができるスペース	86%
○軽食を食べながらコミュニケーションができるスペース	70%

それは「図書館にあるからいいの？」

「図書館でなくても、学内のどこかにあればいいの？」

集中と協働  
静と動の  
両方が求めら  
れている

# アクティブ・ラーニングって？-1

- 「読解・作文・討論・問題解決などの活動において分析・統合・評価のような高次思考課題を行う学習」

山内祐平ほか「ワークショップデザイン論」慶應義塾大学出版会、2013.6

- ...Student must do more than just listen: They must read, write, discuss, or be engaged in solving problems.

Charles C. Bonwel and James A. Eison “Active Learning: Creating Excitement in the Classroom” ASHE-ERIC Higher Education Reports, 1991

アクティブラーニングのプロセスには  
個と多(他)の両方があるのでは

# アクティブ・ラーニング実践例-1

- LIDEE“Life Innovation by Design and Engineering Education” <http://www.eng.ocha.ac.jp/lidee2013.pdf>  
ワークショップ形式を基本とした「問題解決型」のプログラム

## 「アクティブ・ラーニング」としてのLIDEEの特徴

- ✓ チーム作業：自分の考えを他者に伝え、また他者の考えを知ることを体験してもらうため、チームによる作業が基本
- ✓ ワークショップ：結果では無く過程を重要視すること、多様な視点や考え方の「気づき」を体験してもらうため、ワークショップ形式での作業を行う
- ✓ 現場調査や専門家の参加：机上の議論だけでは無く街に出てヒアリングをするなど、現場での体験を重視。できるだけ外部の専門家をお呼びして、現場の声を聴く機会を設定

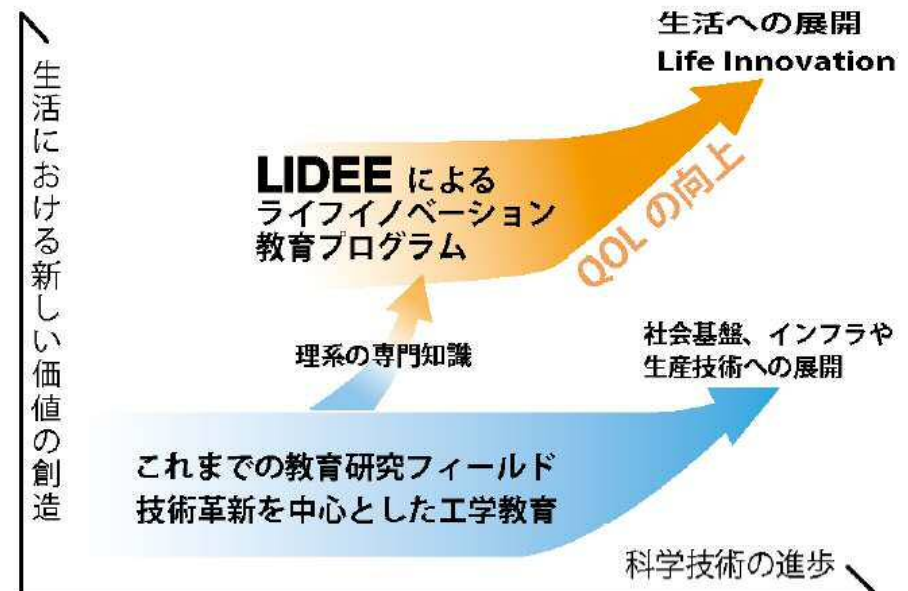
## アクティブ・ラーニング実践例-2

- LIDEE“Life Innovation by Design and Engineering Education”

LIDEEの活動から見た求められる空間

- ✓ ワークショップの場所
- ✓ 発表・講評の場所
- ✓ 情報の加工の課題

+ 事前調査や  
アイデア出しの  
スキルも必要？



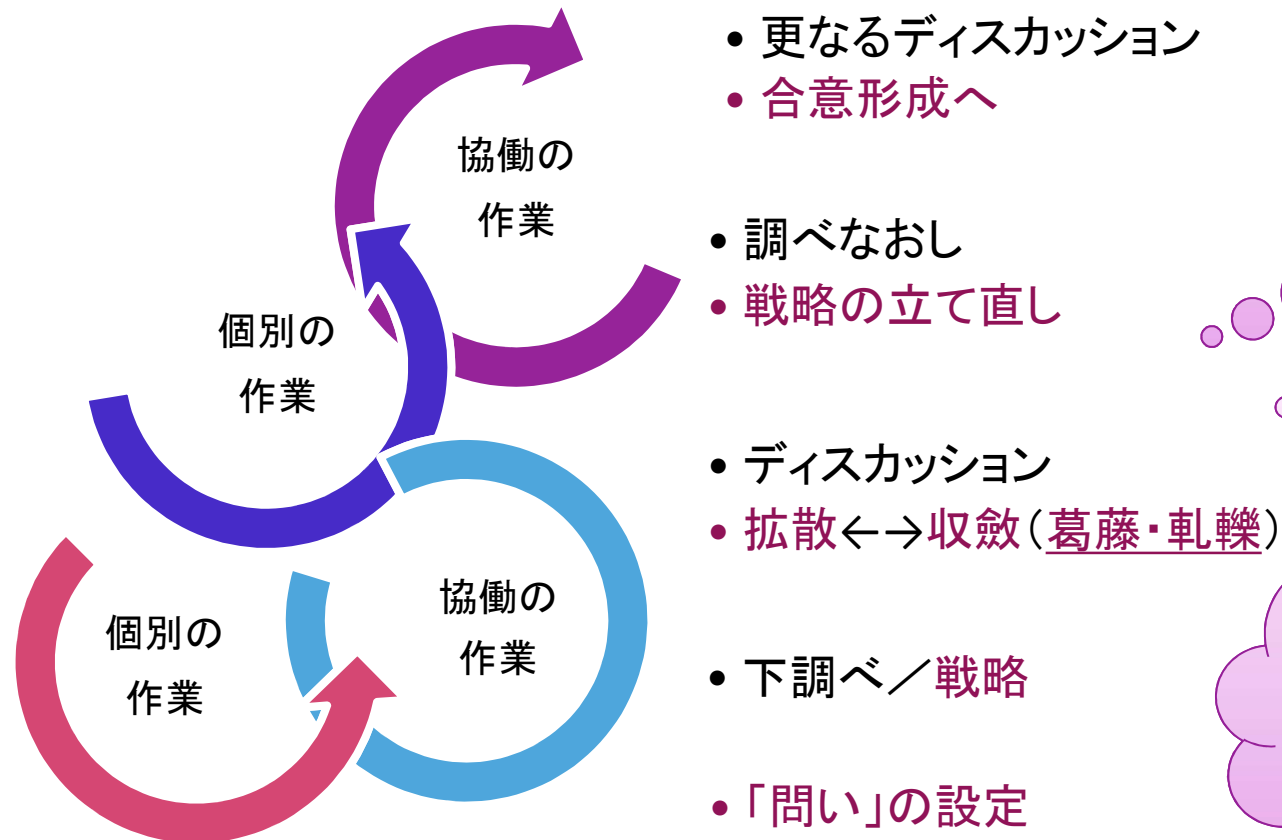
出典：松田雄二『新図書館構想WG 空間SG「LIDEE」プログラムの報告』

平成25年9月10日 新図書館構想WG第2回打合せ資料

URL: <http://www.eng.ocha.ac.jp/lidee.html>

# アクティブ・ラーニングって？-2

- 学修のプロセスは一方向ではない
- 場所は教室だけでも図書館だけでもない



「行ったりきたり」のプロセスが大事

繰り返すことでスパイラルアップ

# まとめ

## ● 夢を大きく持とう

私の夢は(図書館活動を通じて)平和で心豊かな  
世界を実現すること

たった一人の英雄が  
果たすことではなく、  
私たち皆の一人一人  
の智と心の問題

## ● 夢を実現するには？

具体的なイメージを持つ／ロールモデル

夢には目的と手段があることを知る

あきらめない・考え抜く・行動する・仲間と協働する

## ● ホームライブラリーを持とう

生涯学び続ける場として

(空間／蔵書・コンテンツ／人)

図書館は、  
いつも  
あなたを  
待っています

ご清聴ありがとうございます

なんでも質問コーナー